

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-20-1
事業名	復興まちづくり計画策定事業
事業費	総額 21,966,000 円 (国費 16,474,000 円) 山武市津波避難施設等整備基本計画策定業務委託
事業期間	平成24年度 ~ 平成25年度
事業目的	<p>平成23年3月11日の東日本大震災は、山武市へも未曾有の津波被害をもたらし、この震災を教訓として、「人と人がつながり、安心して安全な災害に強い地域」を目指した「山武市復旧・復興計画」が平成24年2月に策定され、この復興計画と平成23年度に実施された「東日本大震災の被害状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その30)報告書」を基に調査検討を進め、津波避難施設整備を中心とする、今後の復旧・復興事業及び防災対策事業の指針となる山武市津波対策100年計画を策定する。</p>
事業結果	<p>山武市津波対策100年計画を策定し、以下の項目を考慮した本市の津波対策の指針を示した。</p> <ol style="list-style-type: none">津波シミュレーション 市民からの要望による津波高さ10mの津波シミュレーションを実施し平成24年6月に津波ハザードマップを公表した。 また、千葉県が公表した、津波シミュレーション予測と山武市の浸水予測範囲を重ねた図を整理した。避難シミュレーション 津波避難に関する前提条件を設定 (1) 避難対象地域 (2) 避難手段 (3) 避難可能時間(津波到達予想時間〔第1波〕) 津波避難に関する前提条件を基に、避難道路の候補を選定し、現状と課題を整理したのち避難道路優先整備路線を選定した。津波避難施設等の検討 津波避難施設の規模及び位置の選定 避難優先整備路線が提示されたが、津波到達時間内に避難できない人のために浸水予測範囲の住宅や施設等を考慮し、優先的に整備位置を選定した。海拔標示看板の設置 既設海拔標示看板の位置と課題を精査し、新たに海拔標示看板を設置した。

事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

復興まちづくり計画策定業務において策定した、山武市津波対策 100 年計画に基づき、避難道路や津波避難施設などインフラ整備を行ったことで復興事業の進展が図られたと評価する。

② コストに関する調査・分析・評価

復興まちづくり計画策定業務委託事業者を山武市の防災対策上の課題等に精通している事業者を選定したことで計画策定期間を短縮しコスト削減を図ることが出来たと評価する。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

復興まちづくり計画策定にあたっては、住民アンケートの結果や津波シミュレーションを踏まえた復興事業計画となっており、地域の課題等の解消が図られる計画が策定されたことから適正であったと評価する。

事業担当部局

総務部 消防防災課 0475-80-1116